

労働条件は改悪され、
安全が崩壊している！

外注化は全て偽装請負だ

動労連帯、外注化に伴う強制出向の無効を確認する集団訴訟開始(昨年12・26)

今年もよろしくお祈りします。

動労連帯は、昨年12月26日、動労千葉・動労水戸の組合員と共に外注化に伴う強制出向の無効確認を求める集団訴訟を起こしました。また動労千葉9名組合員への国鉄解雇の不当労働行為を認めさせた6・29判決の控訴審闘争も闘われています。

労働条件は悪化し、安全が崩壊！

JRよりも休日数が5日も減ることになったのは、労働条件の不利益変更です。外注化が原因で、業務が分割され連携が壊され、仕事はやりにくく、かつ作業責任者がなんら安全に責任をとることができず、安全が崩壊する事態になっています。

戻ることなき片道切符。転籍・非正規化でコスト削減必至

会社は、「3年で戻れるとは約束できない」とはっきり明言しています。外注化を強行したら出向者はJR社員扱いしないやり方をしています。出向によって「労働者は会社が思うままのコマだ。文句は言わせない」ということを浸透させようとしているのです。

ライフサイクルも同じです。ライフサイクルに行かされた職場では、「そんなに来てもやることはない」(新宿駅国労組合員の話) 一方で、会社の狙いは、労働者の誇りや抵抗を無きものにすること

です。ライフサイクルに「しかたない」と従えば、次は出向。それも「しかたない」と従えば次は転籍。黙っていたら労働者は使い捨てです。

構内業務もまともに作業責任とれないで「清掃もやれ」！？

JR東日本は「グループ経営構想V」で全面外注化・非正規職化推進を宣言しています。闘わない労働組合のもとでは労働者は奴隷にされてしまいます。

TTSは、「清掃もやれ」と1~2月にかけて「業務範囲拡大研修」をやると言っています。「出向に行っても同じ仕事」はウソでした。(裏へ)

国鉄分割民営化反対！1047名解雇撤回！民営化・外注化粉碎！非正規職散発！

国鉄分割民営化で不当解雇から26年 2・17労働者集会

日時：2月17日(日) 17時～

場所：すみだ産業会館(錦糸町駅前・丸井錦糸町店9階)

呼びかけ：国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

1月9日
No107

国鉄高崎動力車連帯労働組合

(連絡先：srkcjp@yahoo.co.jp 048-722-7107faxt 共)